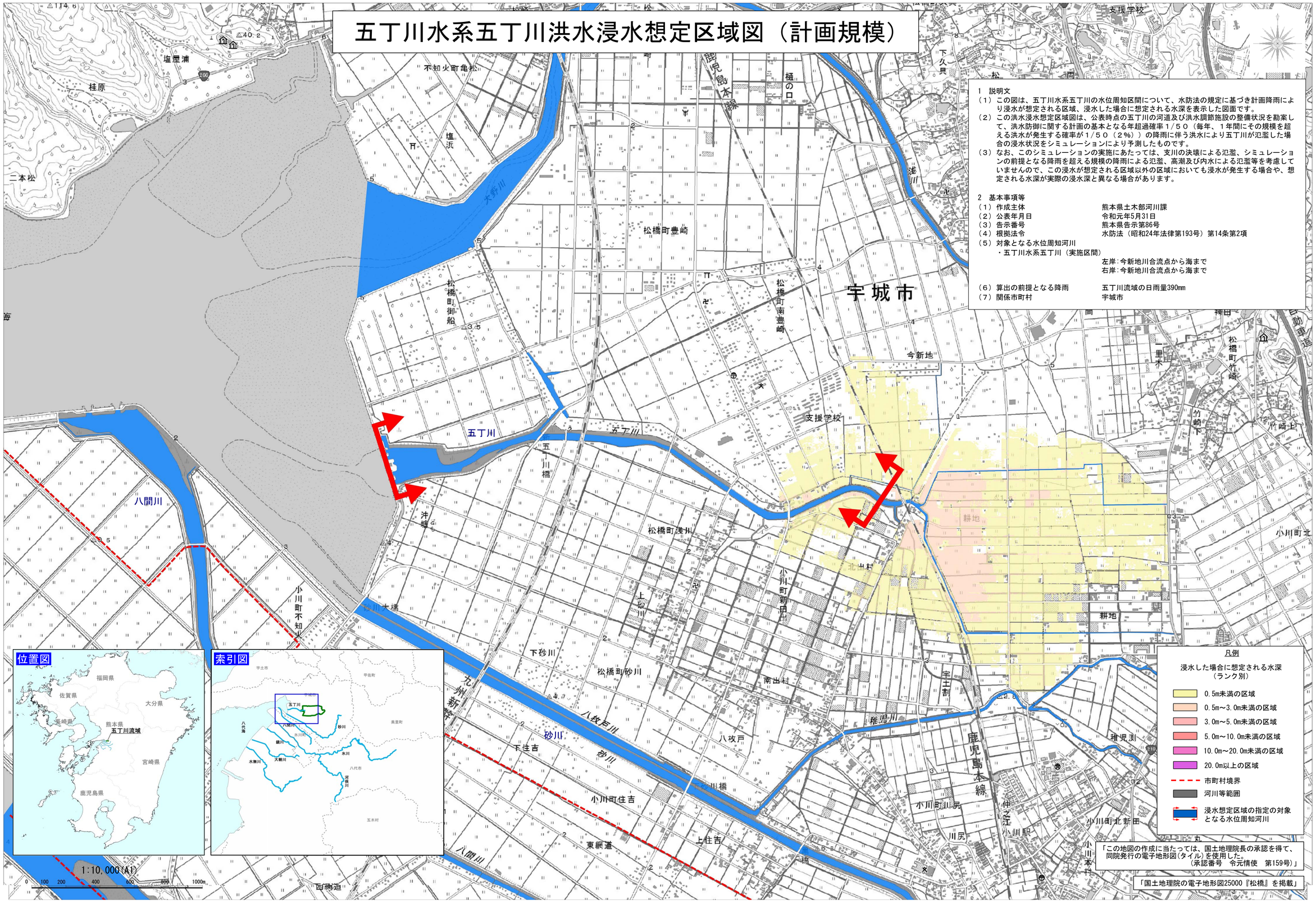
五丁川水系五丁川洪水浸水想定区域図（計画規模）



1　説明文

（1）この図は、五丁川水系五丁川の水位周知区間について、水防法の規定に基づき計画降雨により浸水が想定される区域、浸水した場合に想定される水深を表示した図面です。

（2）この洪水浸水想定区域図は、公表時点の五丁川の河道及び洪水調節施設の整備状況を勘案して、洪水防御に関する計画の基本となる年超過確率１/５０（毎年、１年間にその規模を超える洪水が発生する確率が１/５０（２%））の降雨に伴う洪水により五丁川が氾濫した場合の浸水状況をシミュレーションにより予測したものです。

（3）なお、このシミュレーションの実施にあたっては、支川の決壊による氾濫、シミュレーションの前提となる降雨を超える規模の降雨による氾濫、高潮及び内水による氾濫等を考慮していませんので、この浸水が想定される区域以外の区域においても浸水が発生する場合や、想定される水深が実際の浸水深と異なる場合があります。

2　基本事項等

（1）作成主体	熊本県土木部河川課
（2）公表年月日	令和元年5月31日
（3）告示番号	熊本県告示第86号
（4）根拠法令	水防法（昭和24年法律第193号）第14条第2項
（5）対象となる水位周知河川 ・五丁川水系五丁川（実施区間）	左岸:今新地川合流点から海まで 右岸:今新地川合流点から海まで
（6）算出の前提となる降雨	五丁川流域の日雨量390㎜
（7）関係市町村	宇城市

凡例

浸水した場合に想定される水深
（ランク別）

- 0.5m未満の区域
- 0.5m～3.0m未満の区域
- 3.0m～5.0m未満の区域
- 5.0m～10.0m未満の区域
- 10.0m～20.0m未満の区域
- 20.0m以上の区域
- 市町村境界
- 河川等範囲
- 浸水想定区域の指定の対象となる水位周知河川

「この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の電子地形図（タイル）を使用した。
（承認番号　令元情使　第159号）」

「国土地理院の電子地形図25000『松橋』を掲載」